

弁護士大增員時代に見えてくる 私たちの暮らしの未来を語り合おう ～失われるのは『和』の心か?! 『やさしさ』か?!

現在、政府の方針によって、司法試験合格者、中でも弁護士の数が急激に増えて
います。

これが法的なサービスの充実に繋がれば良いのですが、増え方が急激すぎて、
様々な弊害が生まれつつあります。

例えば、新人弁護士が法律事務所に就職できなくなり、そのために一人前の弁護
士としての技量を身につけることが難しくなるといった現象が生じたり、あるい
は、不当な訴訟等が増えるといった問題があります。弁護士を大增員した結果、こ
れから先、市民の皆さんの暮らしにも重大な影響を及ぼすことも十分考えられます。

そこで、このたび、弁護士激増が、市民の皆さんの生活に与えるメリット・デメ
リット、弁護士大增員が一体市民の生活にどのような影響を及ぼすのか、失われる
ものとは何か、市民の皆さんとともに考えてゆく集会を企画しました。

企画内容

第1部 基調報告

「本当に弁護士を増やさなければならなかったのか」

兵庫県弁護士会法曹人口問題プロジェクトチーム座長 武本夕香子

第2部 講演

「弁護士大增員の現状とこれから」

大阪弁護士会所属 弁護士 坂野真一

第3部 法曹人口に関するパネルディスカッション

マスコミ関係者、中小企業の経営者、弁護士等から、弁護士を増やす必要
があったのか否か、弁護士に求める役割や、弁護士人口が急増したことによ
る市民生活への影響に関する意見を述べていただく予定です。

第4部 会場発言

出席していただいた皆さんから、ご意見をいただきます。

日時 平成23年2月26日(土)
午後1時から4時まで

場所 兵庫県弁護士会館本館4階講堂
〒650-0016 神戸市中央区橘通 1-4-3

お問い合わせ先：078-341-7061

後援：日本弁護士連合会・近畿弁護士会連合会

